

愛媛県看護協会 助産師職能委員会 ニュースレター

第4号

1. 助産師職能委員の紹介



New! 三浦恵理子 (愛媛県立新居浜病院)

「今年から助産師職能委員として参加させて頂くことになりました。今まで他施設の方達と一緒に活動するという機会があまりなく、緊張もしていますが色々刺激を受けながら楽しく活動できれば良いなと思っています。よろしくお願ひします。」

目次

1. 令和5年度助産師職能委員の紹介
2. 助産師職能研修会報告：母親のメンタルヘルス（妊娠期からの）－気づいて・つないで・支える多職種連携－
3. 特集：看護フェスティバル2023～看護の心を
みんなの心に～
4. 新しい患者サービスの取り組み～市立宇和島病院～
5. 助産師活動に役立つ学会および研修会情報
6. 「お産にまつわるお話」

入会手続きのご案内 編集後記



上本亜希 (愛媛大学医学部附属病院) 高石留美子 (四国中央病院) 鷹子知美 (市立宇和島病院) 松嶋佐恵 (松山赤十字病院)



今年も8人の委員で頑張っています。これからの助産師活用の参考になるような情報発信をしていきたいと思ひます。



嶋屋順子 (愛媛県立中央病院)

神野奈美恵 (愛媛県立今治病院)

赤穂静香 (愛媛県立中央病院)

2. 助産師職能研修会報告：ハイブリッド研修

「母親のメンタルヘルス（妊娠期からの）－気づいて・つないで・支える多職種連携－」



研修の役立ち度



「研修後アンケート結果」より

7月8日(土)「母親のメンタルヘルス(妊娠期からの)－気づいて・つないで・支える多職種連携－」というテーマで愛媛県看護協会にて助産師職能研修会が行われました。国立研究開発法人 国立成育医療研究センター ところの診療部 乳幼児メンタルヘルス診療科より、立花良之先生をお迎えして妊娠期・産後・育児期に起こりやすい母親のメンタルヘルスの問題の早期発見と介入のためにやるべきことについて、復習も兼ねて詳しく学ぶことが出来ました。実際の看護の場で活かせる内容であり、グループワークで他施設との情報交換・意見交換も行いたいところでしたが時間に限りがあり残念でした。是非、第2回目の会も期待したいです。

日頃、看護をしていく中で妊娠中や産後に様々な悩みを抱える母親は多く、今後増えていくことが予想されます。母親のメンタルヘルスに対するケアは、これからますます重要になってくる為、今回の研修会での学びはとても有意義なものとなりました。立花先生貴重なご講義ありがとうございました。

今年には福岡県からもお一人参加頂きました。研修はすべて3職能対象となっています。10月開催予定の「交流集会」にも是非ご参加ください。お待ちしております。(松嶋佐恵委員 松山赤十字病院)



3. 「看護の日・看護週間」事業
看護フェスティバル2023～看護の心をみんなの心に～

看護フェスティバルはたくさんの親子連れが来場され大盛況でした。私は胎児モデルの展示ブースを担当し対象のお子さんに合わせて胎児の成長発達のお話をさせて頂きました。お子さんの出生時の体重を伺ってイメージしてもらい、おなかの中にいた時の話をしたりちょっとした性教育にもなっていました。看護師・助産師の仕事内容もいろいろあることを知り興味を持って頂けるように対応することを心掛けました。助産師を志望している学生さんにも数人参加されていて質問に答える事ができました。キラキラした瞳を輝かせている学生さん達と関わることができて私も将来一緒に働けることをイメージできました。(武田美江子助産師 愛媛大学医学部附属病院)



今回初めて看護フェスティバルに参加させていただきました。夏休みということもあり、小中高校生の多くの子もたちとご家族で看護フェスティバルへ足を運んで頂き、イベントは大盛況となりました。注射体験、妊婦体験、赤ちゃんのお世話など各ブース様々な魅力がありました。私は赤ちゃんのお世話ブースを担当させて頂きましたが、子ども連れのお母さん方は「あなたが生まれた時、このくらいの重さだったよ。」とお子さんへ伝えている様子や、お父さん方は「オムツ交換まだできるかな?」とお子さんへ披露されている様子が見えたりして、子どもたちが赤ちゃんや育児へ興味を持ってきてくれていることにとても嬉しくなりました。中には助産師になりたい!という高校生の方もおられ、自分にもこんな時期があったなと初心に戻る瞬間でした。ありがとうございました。(西村梨里香 助産師 愛媛県立中央病院)

4. 新しい患者サービスの取り組み～市立宇和島病院～



楽しいはずの妊婦生活がコロナ禍により制限されてしまった妊婦さん。そこで何か妊娠中に思い出作りになるものはないかと令和2年7月にマタニティーペイント資格を取得し、妊娠後期に希望する妊婦さんに対してマタニティーペイントを行っています。希望するイラストを聞き、アロマを焚いた部屋で音楽を流してゆったりとした雰囲気です。

～ペイント例～



～出産後～

出生後はスタッフによるベビーフォトの撮影も行っています。どちらのサービスも患者さんからは好評でとても喜んでいただいています。今後も患者さんに喜んでいただけるようなサービスを提供していきたいです。(鷹子知美委員 市立宇和島病院)



5. 助産師活動に役立つ学会および研修会情報（2023年9月～）

| 月 | 日 | 学会・研修会名 | 会場 |
|----|---------|-------------------------|-------------------|
| 9 | 29.30 | 第54回 日本看護学会学術集会 | 大阪国際会議場 |
| 10 | 13.14 | 第64回 日本母性衛生学会総会・学術集会 | 大阪国際会議場 |
| | 28.29 | 第19回日本周産期メンタルヘルス学会 学術集会 | 一橋講堂 |
| | 31～11/2 | 第82回 日本公衆衛生学会総会 | つくば国際会議場 |
| 11 | 2～4 | 第67回日本新生児成育医学会・学術集会 | パシフィコ横浜 会議センター |

6. お産にまつわるお話 その1



「戌の日」について

「戌の日」が表す戌(いぬ)とは十二支の11番目、動物の犬のこと。年に干支があるように、実は日にも干支があるのです。カレンダー上では12日に一度、戌の日がめぐってきます。

犬は子たくさんでありながらお産が軽いことから、古来、日本で安産の象徴とされてきました。

戌の日のお祝いとは、そんな犬の縁起にあやかって、妊娠5ヶ月目の戌の日に妊婦が腹帯を締める、という広く親しまれてきた風習。「帯祝い」とも呼ばれます。

「岩田帯」について

穢(けが)れ・災いから身を守る「斎肌(いはだ)帯」が語源です。岩のように頑丈で強い赤ちゃんになるようにという願いが込められているそうです。下腹部に腹帯を巻くことでお母さんのおなかを支え、保湿し、日々大きくなる赤ちゃんを冷え・衝撃から保護します。「結肌帯(ゆわたおび)」とも呼ばれます。

今は、伸縮性のある素材を使った腹帯やマタニティガードル、手軽にサポートできるベルト型など、形や機能に様々なタイプがあるので使いやすい妊婦帯を選びましょう。

(赤穂静香委員 愛媛県立中央病院)



入会手続き・原稿募集のご案内

愛媛県看護協会へ入会し、助産師間で知識と経験を共有し、母子に向けて質の高いケアを提供しませんか？入会を希望される方は、下記までご連絡ください。

ニュースレターを通じて自分たちの実践活動などの情報を共有しませんか？掲載を希望される方は愛媛県看護協会までご連絡ください。次号の原稿締切日は、2023年11月末日です。

公益社団法人愛媛看護協会 事務局
E-Mail nursing-ehime@circus.ocn.ne.jp

編集後記

「地球沸騰化の時代に入った」と言われるように今年の夏は異常でした。まだまだ暑い日が続く予定です。体調を壊さずお過ごしください。ネッククーラーはおすすです、熱中症対策に是非！10月交流集会では皆様の参加をお待ちしております。(嶋屋順子)

